

<p style="text-align: center;"><b>電子情報工学セミナーII</b> (Seminar of Electronics and Information Engineering II)</p>	<p style="text-align: center;"><b>2 年・通年・2 単位・必修</b> <b>電子情報工学専攻</b> 担当 山口 賢一, 池田 陽紀, 市川 嘉裕</p>	
	<p style="text-align: center;">〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1 (80%), C-1 (20%)</p>	<p style="text-align: center;">〔JABEE 基準〕 d-2c, d-2a, f</p>
<p>〔講義の目的〕 受講生が、特別研究やそれに関連した文献の紹介を行い、議論を深めることにより、技術者として必要なプレゼンテーション及び討議の能力を養うことを目的とする。</p>		
<p>〔講義の概要〕 一部 1・2 年次の受講生に対して同時開講することにより、受講生間でプレゼンテーションの技術を共有、磨くと共に、先輩、同級生、下級生の研究テーマに興味を持ち、さまざまな研究の動機、研究／実験手法を知ることにより、特別研究に対する視野を広げ、自己の研究の進め方に反映させる。 受講生は、発表、司会、記録を各 2 回ずつ担当する。聴講時には積極的に質問し、討論に参加することで、プレゼンテーションを構成する基本的な役割を一通り体験する。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 他人の発表の良い点、悪い点を観察し、自分の発表に活かすなど、常にプレゼンテーションの技術を磨くという姿勢を持つこと。</p>		
<p>〔到達目標〕 プレゼンテーション技術を習得する。</p>		
<p>〔自己学習〕 発表に際しては指導教員と十分な打ち合わせを行った上で、十分に練習し発表すること。</p>		
<p>〔評価方法〕 発表 (60%) + 聴講回数 (20%) + 司会・記録 (10%) + 質問回数 (10%) 評価は、提出物 (発表資料 A4 1 枚、担当した回の質問の記録) 及び、セミナーの取り組み状況 (発表、司会、記録、質問) を総合的に評価。 単位認定と成績評価の目安 (1) 単位認定の最低条件: 発表・司会・記録の担当 (2) 発表の評価: 発表資料、発表内容、質疑応答を担当教員が総合的に評価 (3) 聴講回数: 受講者としての聴講回数に基づく評価 (4) 司会、記録の評価: 特に優れている、または劣っている場合について評価 (5) 質問回数: 受講者としての質問回数に基づく評価</p>		
<p>〔教科書〕 特に定めない。各自プレゼンテーションに関する文献 (例えば下記) を参考にして欲しい。 〔補助教材・参考書〕 (1) 諏訪邦夫、“発表の技法”、(講談社ブルーバックス、B1099)、講談社、1995 (2) 作山宗久、“ブラッシュアッププレゼンテーションの技法”、TBS ブリタニカ、1998 (3) 海保博之、“説明と説得のためのプレゼンテーション”、共立出版、1995</p>		
<p>〔関連科目・学習指針〕 特別研究、専門科目全般</p>		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
1週	オリエンテーション	オリエンテーション、発表スケジュール配布などを行う	
2週	発表技法	良い発表とは何かについて考える。	
3週	2年生発表1 (1)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
4週	2年生発表1 (2)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
5週	2年生発表1 (3)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
6週	2年生発表1 (4)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
7週	2年生発表1 (5)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
8週	2年生発表1 (6)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
9週	2年生発表2 (1)	1回目の発表を受けて、ブラッシュアップを行う。	
10週	2年生発表2 (2)	1回目の発表を受けて、ブラッシュアップを行う。	
11週	2年生発表2 (3)	1回目の発表を受けて、ブラッシュアップを行う。	
12週	2年生発表2 (4)	1回目の発表を受けて、ブラッシュアップを行う。	
13週	2年生発表2 (5)	1回目の発表を受けて、ブラッシュアップを行う。	
14週	2年生発表2 (6)	1回目の発表を受けて、ブラッシュアップを行う。	
15週	まとめ	発表時間、質疑時間、質問回数などにに基づき教員からコメント	
16週	オリエンテーション	オリエンテーション、発表スケジュール配布などを行う	
17週	2年生発表 (1)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
18週	2年生発表 (2)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
19週	2年生発表 (3)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
20週	2年生発表 (4)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
21週	2年生発表 (5)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
22週	2年生発表 (6)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
23週	1年生発表 (1)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
24週	1年生発表 (2)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
25週	1年生発表 (3)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
26週	1年生発表 (4)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
27週	1年生発表 (5)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
28週	1年生発表 (6)	特別研究関連の発表を行う。(司会進行・記録も学生が行う)	
29週	まとめ	発表時間、質疑時間、質問回数などにに基づき教員からコメント	
30週	特別研究発表会	特別研究発表会で発表する (2年)、聴講する (1年)。	

\* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.  
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)